

広報あかいけ

59年

4月

No.255

発行所 赤池町役場 編集 総務課 文書広報係 ☎(代表) 2004

印刷所 赤池印刷 毎月 1回発行

三月十三日に開会された、三月定例町議会の初日、香月町長は、昨年同様三カ月間の暫定予算を編成した理由や、厳しい状況の中での今後の行財政の進め方などについて、次のように施政方針を述べました。



香月 町長

昨今の社会経済の諸情勢は、日々刻々と著しく、また厳しく変化しております。

とくに、国・地方を通じ公債残高が約百七十兆円、日本の人口約一億一千万人とすると、お年寄りから0歳のあかちゃんまで国民一人当たり約百五十万円の借金を抱えている計算になります。

このように国・地方とも未曾有の財政危機を迎えています。国の本年度予算の歳出面においては、臨時行政調査会による改革の方策の着実な実施をはかるなど、徹底した経費の節減合理化を行うことを基本とし、その規模を厳しく抑制しつつ、限られた財源の中で質的な充実に配慮し、あわせて歳入面においては、その見直しを行い、これにより公債発行額を可能な限り抑制することとして、予算規模は〇、五パーセントの増となっております。

(とじて保存してください)

地方財政計画においては、伸び率一、七パーセントと緊縮されていますが、地方財政全体で約一兆五千億円の財源不足が見込まれ、赤池町唯一の歳入一般財源である地方交付税においては、前年度に引き続きマイナス三、九パーセントとなっております。

財源の見とおしが不透明

三カ月間の暫定予算 緊急重要で 補助対象事業を中心に

このような状況下で、本町の今年度一般会計については、伸び率は、昨年と同じようにまず第一に昭和五十八年度歳入欠かんが多であります。

第二に、昭和五十九年度地方交付税の伸びがなく、健全化計画との差がどの程度になるか見込みがたないということ。第三に、住宅団地の売却が今一つといったところで、五十九年度の財源見通しが不透明であるため、昨年同様三カ月の間の暫定予算の編成となりました。

今年度当初予算編成につきましては、今後三カ月間に歳入財源の適確な把握と歳出予算の再検討を健全化計画とにらみ合せながら編成し、できれば六月定例議会に提出する予定であります。五十八年度より、なお一層の厳しいものが予測されますので、九月定例議会となることも考えられます。

このような厳しい財政状態の中で、社会福祉の充実、生活関連施設の整備等、住民福祉の向上のための施策の拡充を図らなければならないという、極めて困難な状態であり、前年同様、教育、体育、文化の物心両面の充実、産炭地振興と就労対策、同和対策、過疎対策、鉱害復旧、福祉対策等の諸事業につきましては、国や県

に対して強く要請を重ねていく所存であります。中でも緊急課題であります鉱害復旧基本計画については、早急に策定し、議会におはかりしたいと存じます。また、中学校体育館建設については、ぜひ、実施したいと思っております。

財政運営におきましては、総額三十八億円以内の予算規模とし、前年度当初予算と同程度で、前年同様、抑制、節減に努めざるを得ない状況にあります。事業面におきましても、起債制限等を勘案し、緊急重要な事業で国庫対象、および地方交付税算入事業を中心として実施していきたいと思っております。

本町の大きな財産収入源である赤池ニュータウンの宅地分譲につきましては、第三次公募を行い、精神的に売却に努めていきたいと思っております。

現在の地方自治を取りまく環境は、極めて厳しいものがありますが、時の流れを正しく見きわめ、種々の問題を的確に見出し、適切な対策を講ずることが行政として重要であると考えております。

このような行政を進めるために常に新しい感覚で積極的に、かつ慎重にもの考え対処していきたいと思っております。現状の財政状態、財源不足を各職員に更に徹底させ、住民のみならずにも理解して頂き健全財政に向って努力する所存であります。